

事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0110501 - 06010

京 都 府 南 丹 市
作成日: 平成21年05月12日

事業名	青少年活動事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等				所管部署名等
細事業名	わくわくわんぱく交流ふれあい事業	委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体				教育委員会 社会教育課 担当:
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業 政策体系CD: 111 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)		<input type="checkbox"/> その他 ()				
		関連法令・条例等	社会教育法				

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
自然体験活動を通じて青少年の健全育成と障がいに対する理解を深める事業。
休日や長期休暇時期において季節等に応じた体験活動を年10回程度実施する。
- ②事業を実施する必要性
児童が協調性や連帯感を高め、自己の価値を見出すことが必要とされていることから、次のことを重点として取り組む。
(1)豊かな環境の中で様々な体験活動を通して感性を育み、ものごとを深く見つめる力を培う。
(2)あらゆる機会での「対話」を重視し、出会いや交流を通じて自己の良さや価値を見出し、自尊心を高める。
(3)障がいのある児童と共に活動することを大切にしながら、協調性や連帯感、思いやりや人権意識を育む。
- ③未実施事項
概ね計画どおり実行できたが、ボランティアを対象とした学習会を行うことができなかった。
- ④他にも効果が見込める施策があるか
第4章1 共に生きるまちづくりを進める
子どものうちから人権感覚を持てるような事業ができる
第4章3 多様な担い手のパートナーシップを育てる
＝ボランティアの育成により、様々な分野での市民参画が見込める

【事業費の推移】

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額		千円	1,210	887	949	629	629
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	1,044	850	818	487	487
	地 方 債	千円	0	0	0	0	0
	一 般 財 源	千円	166	37	131	142	142
職員等従事人員		人/年	—	—	0.57		
人 件 費		千円	—	—	4,004		
事業費総額		千円	—	—	4,953		

【主な支出の内訳】

体験活動事業費	787千円 (消費消耗品費、使用料及び賃借料等)
参加者及びボランティア保険	48千円 (役務費)
活動報告書作成	113千円 (印刷製本費)

【近隣市町村の取り組み状況】

近隣市町村では子どもの体験活動(障がいのある児童含む)の実施は無い。

【前年度の評価を受けて改善した点等】

【所属長総括評価】

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点
参加児童の安全管理について議論した。
- ②当該事業のアピール事項
障がいのある児童とともに体験活動を実施することにより、参加者はもちろんのことボランティアを含め自己有用感や協調性、連帯感を高めることができた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
参加者比率では園部管内の小学生が高いため、他地域からの参加者比率を高めることにより、さらなる交流深めることが必要。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	111	事業名	青少年活動事業			
事業CD	110501-06010	細事業名	わくわくわんぱく交流ふれあい事業			
所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当	平井静男	

110501-06010

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
体験活動事業	●開始式・田植えをしよう!(わくわくキッズ) 場所:旧五ヶ荘小学校及び近くの田んぼ ・開始式(アイスブレーキング、活動班及び班長の選任、1年間の約束を決める) ・田植え体験	5月18日(日)	参加者37名、指導者6名
	●野外調理、サツマイモ苗植え(わくわくキッズ、特別支援学校及び学級) 場所:旧五ヶ荘小学校及び近くの畑 ・アイスブレーキング、活動班及び班長の選任 ・野外調理(飯ごうの炊き方、カレー作り) ・サツマイモの苗植え	6月15日(日)	参加者18名(うち障害のある子ども3名)、13名
	●海の体験(わくわくキッズ) 場所:府立青少年海洋センター(マリンピア):宮津市 ・マリンスポーツ体験(カヌー、OPヨット、カッター) ・伊根湾めぐり(伊根湾自然観察) ・磯観察(海辺のインタープリテーション)	7月26日(土)~27日(日)	参加者51名、指導者8名 主催:近畿ブロックB&G海洋センター連絡協議会
	●ふるさと発見隊(水の路めぐり) 場所:新庄堰、新庄発電所、新庄用水 ・新庄堰の役割(見学及び学習 説明:地元水利組合) ・新庄発電所見学(説明:関西電力(株)職員) ・新庄用水路くだり(浮き輪で水路内見学・体験)	8月5日(火)	参加者37名、指導者12名 共催:南丹広域振興局
	●サマー合宿(わくわくキッズ)2泊3日 場所:旧五ヶ荘小学校 ・部屋(旧教室)の掃除 ・食事(飯ごう等)づくり ・おもしろ科学実験、フィールドワーク(川のぼり) ・ロープワーク 他	8月26日(火)~28日(木)	参加者51名、指導者12名
	●稲刈りをしよう!(わくわくキッズ) 場所:旧五ヶ荘小学校及び近くの田んぼ ・稲刈り体験 ・スポーツ交流(キンボール)	9月15日(月:祝)	参加者31名、指導者5名
	●サツマイモ苗掘り、ニュースポーツ交流会(わくわくキッズ、特別支援学校及び学級) 場所:旧五ヶ荘小学校及び近くの畑 ・ゲーム(アイスブレーキング) ・サツマイモ掘り ・さつま汁調理 ・ニュースポーツ(ペタビンゴ)	10月26日(日)	参加者18名(うち障害のある子ども3名)、13名
	●迎春準備をしよう!(わくわくキッズ) 場所:美山町自然文化村 ・しめ縄づくり ・ミニ門松づくり ・餅つき	12月13日(土)	参加者48名、指導者16名

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
	<ul style="list-style-type: none"> ●ウインター合宿(わくわくキッズ)1泊2日 場所:美山町自然文化村 他 ・かやぶきの里見学 ・山村留学センターとの交流 ・ネイチャーウォーク 	1月31日(土)~2月1日(日)	参加者49名、指導者12名
参加者(ボランティア)募集	<ul style="list-style-type: none"> ●高校生(大学・一般)ボランティア募集 対象:管内高校(亀岡、南丹、園部、農芸、聖カタリナ)及びボランティア経験者 ※登録者は保険加入 	4月募集	ボランティア登録33名
	<ul style="list-style-type: none"> ●わくわくキッズ参加者募集 対象:市内小学校4~6年生 ※登録者は保険加入 	4月募集	登録54名
	<ul style="list-style-type: none"> ●ふれあい交流参加者募集 対象:市内小学校(特別支援教室)及び市内在住(丹波養護学校等)学生 ※登録者は保険加入 	4月募集	登録9名
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●活動報告書作成 ・事業内容、参加者(ボランティア含む)の感想、写真等をまとめた報告冊子を作成(印刷製本) 	3月作成	配布先:市内小学校、丹波養護学校、ボランティア依頼高校、市社会教育委員、関係行政機関(府教委等)
	<ul style="list-style-type: none"> ●検討会議 ・実施概要、活動評価、まとめ 	5月及び3月実施	社会教育委員会による会議